おさな

源氏物語 三之下

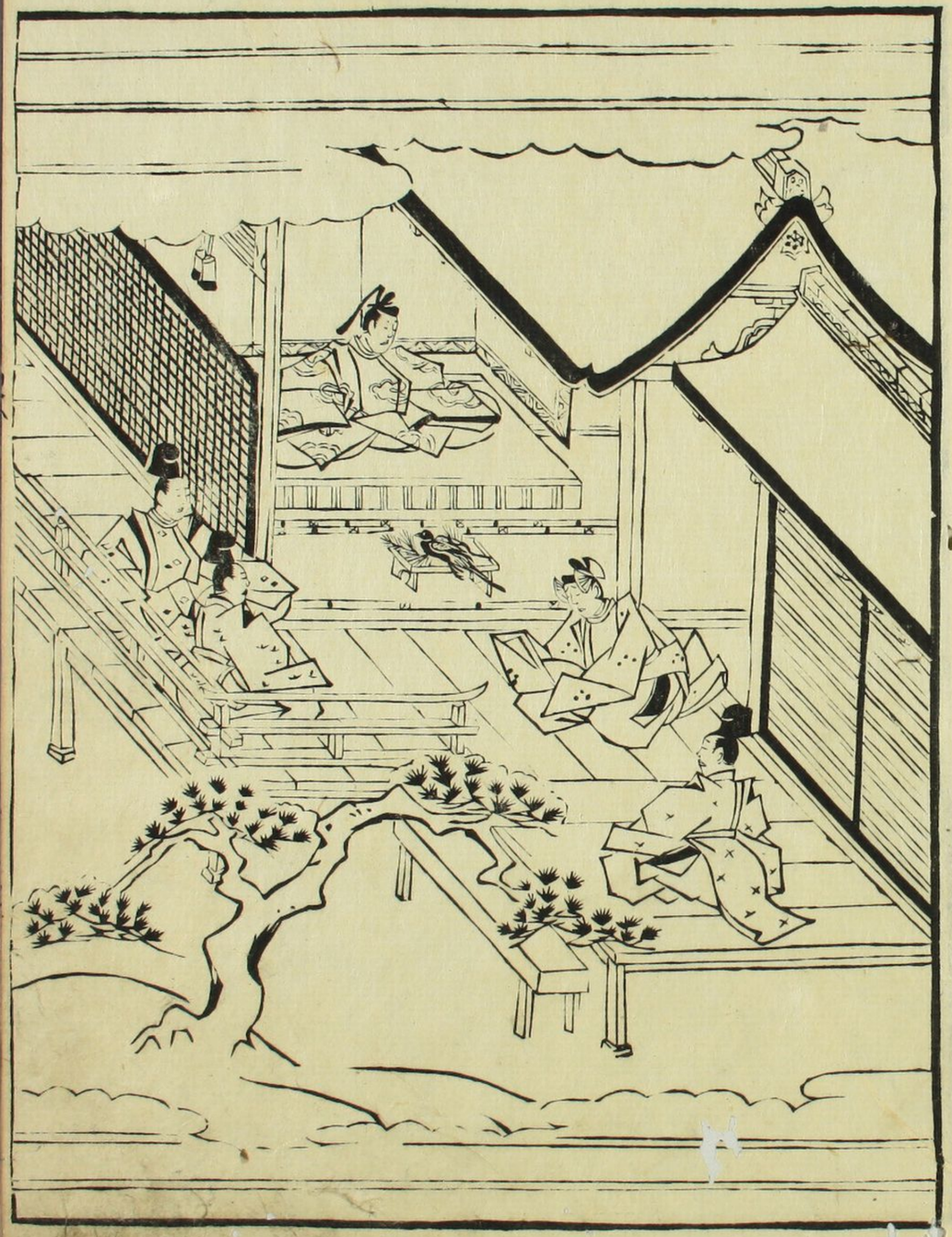
みゆきさ

保延六七年

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

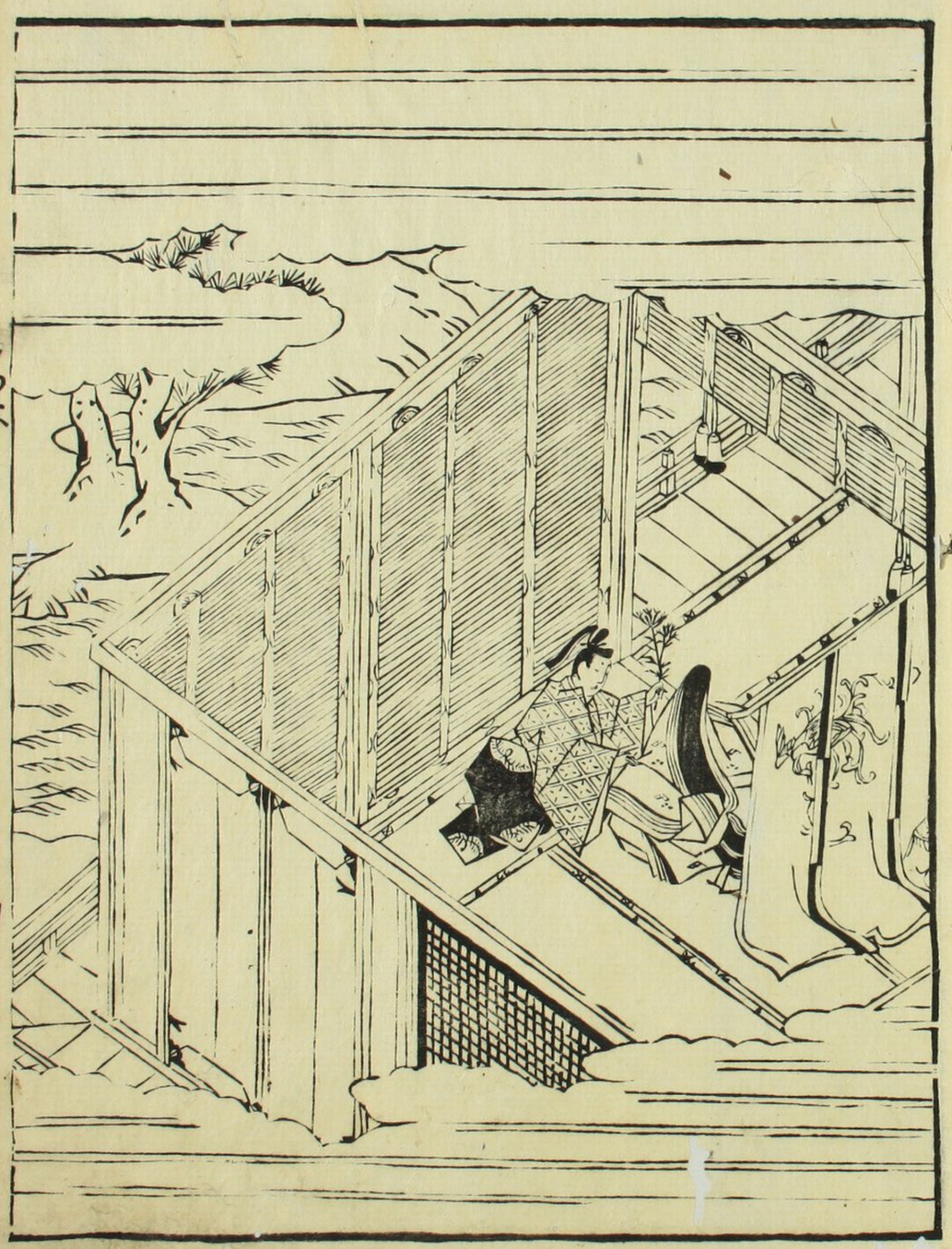
[illegible]

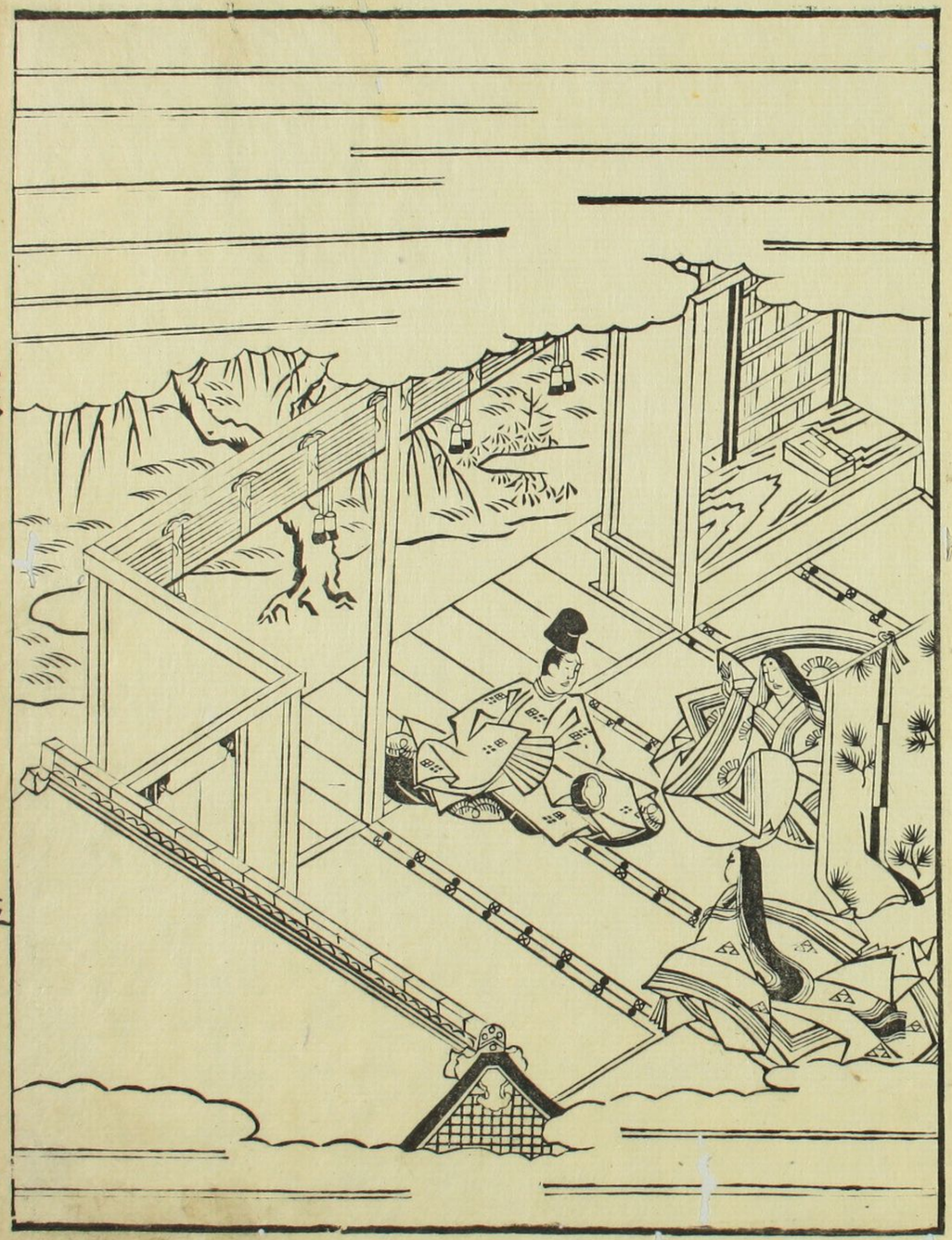
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





[illegible]

[illegible]

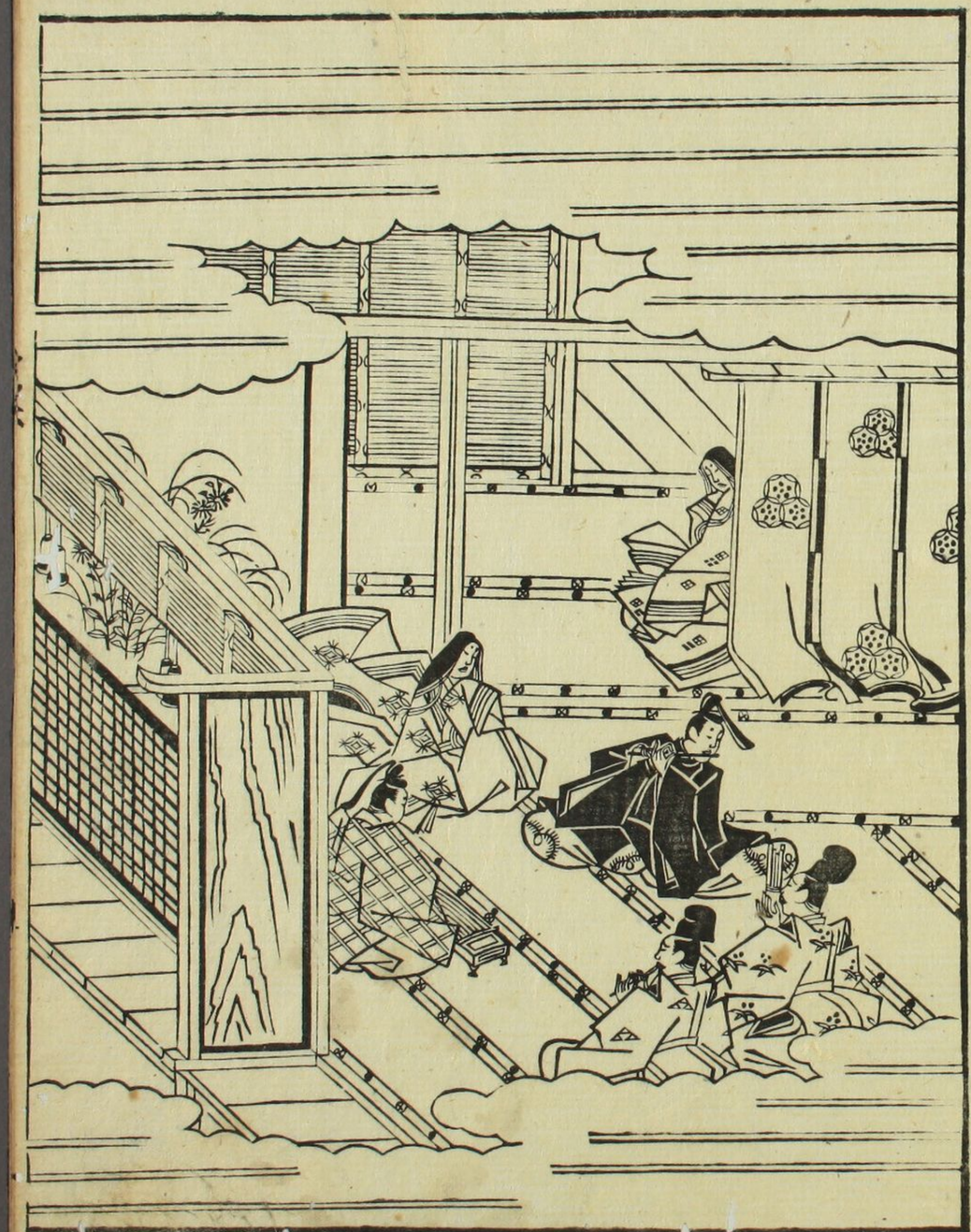
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるとき内侍のすけ参りまゐらせたまひくお
ほめとうのたまひ給ふ
なをそくるあひだ花ぶさのよりあひあるひとめまん
いるのんなとも思ひぬ歌をかしてそこへいそぎれ
大将あるじを取りこむ車よせられそ 源
みをにかすみこそ梅の花たちうりそまひこどもや
きこゆかづらの花めでつてよ新のえん言ぬき白うくも
たちまちまつてよつこそ大将殿へ参る二月毎ちりつまく
うるはしあるこゝろいてたちをうるこゝろへ文ぶうこう
ゑれたるのけさ法の言葉よりふかいふかへと思ふや
おもうなめすう新のこゝろある雅ぬれてこゝろへとおのそ法ものや
あるこゝ中こゝ新乃あるこゝろをんまふよつけても
こゝ新乃中こゝ殿をうしもそこゝろあるこゝ新の花
かものあるうゑんまひく 源
あるとこゝ殿のうのたまへみぞうこん



[illegible]

[illegible]

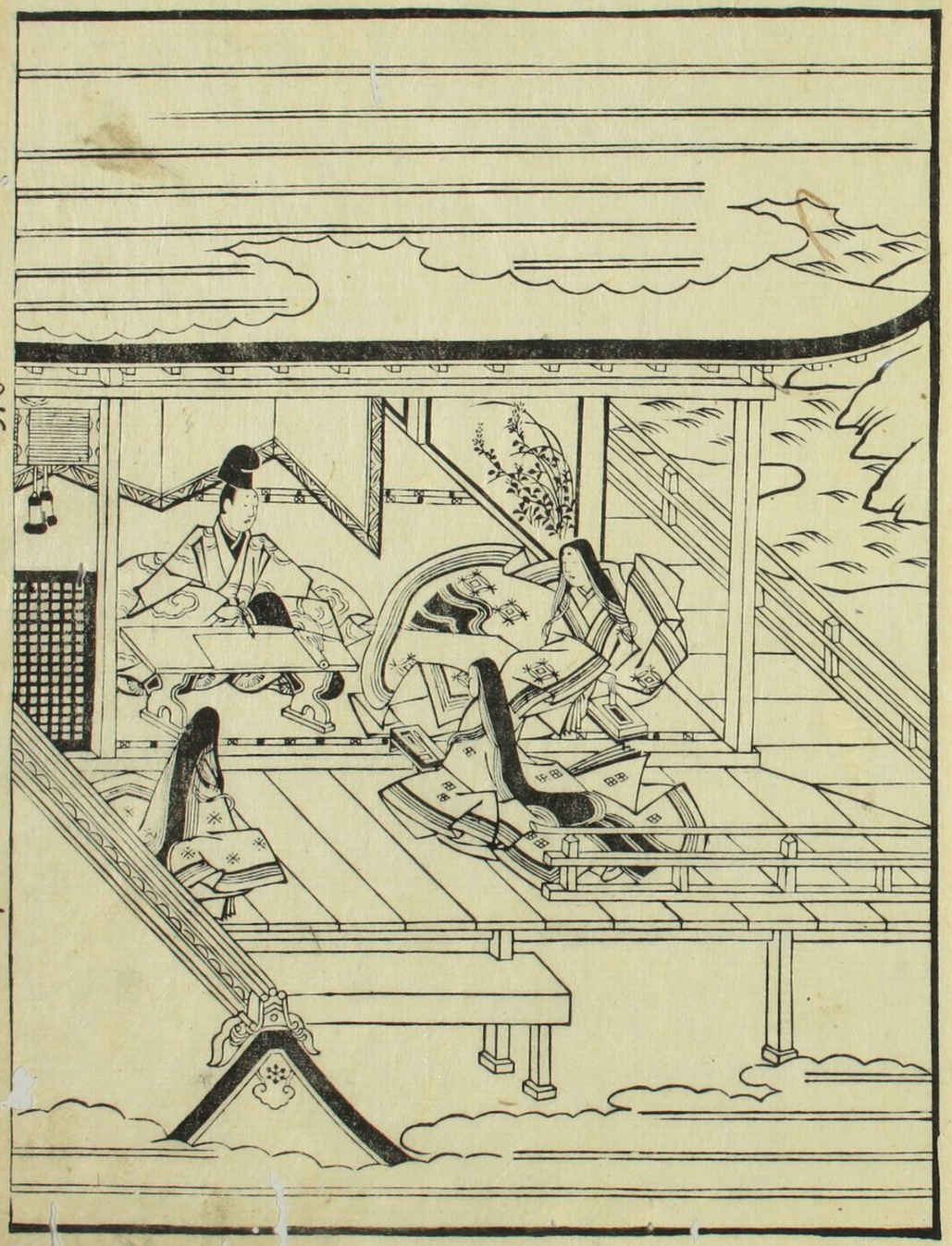
[illegible]

あけくれせんようにもいそくこゝろ
はやくしてよくだりたまへこゝろ
方だゝう合せまつせんこいわんと
れ物をうしなひ給ふ人をく
れくれ申せとの

係　花乃者ゆりわ枝よりねとうん神ゝ海く当めや
おくれ二ゝこゝ西乃ものゝ方のうめん者をこれめく
中せまつり者ゝもんでやうそうめのかさい
めん乃ゝ方おくれ給ふ花乃者とまうの自人
ものとめてまつ家のゝ海ゝかえゝ色れ海ゝ
家のゝ合せまつり姫ゝの海のゝれゝ申しよれゝた
のゝゝゝけゝとゝめゝ者ゝ乃ゝやびゝおくゝ
れゝゝ乃申れゝどん夕雪ゝ
ゝゝて物ゝゝゝひまつり
者ゝゝ
者まのゝゝゝゝゝゝゝ乃ゝゝゝに

係　ものゝ者ゝゝゝゝゝゝ花乃者ゝ者ゝ花がゝゝん
年和　者まの和て花ゝまひくまて牧ゝ花ゝゝの花乃
夕雪　ゝゝて花れゝめゝ花の者花ゝ海やゝゝ
年和　者ゝ花ゝとゝて海ゝゝ花ゝゝゝ
者ゝゝゝゝゝゝゝゝ海ゝ花ゝ
者ゝゝゝゝゝゝゝゝ

係　花乃者花ゝ者ゝゝゝゝゝ
めゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
海ゝ花ゝゝゝ花ゝゝゝゝ
乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
春ゝ乃海ゝ花ゝゝゝゝ
三の花ゝ海ゝゝゝゝゝ
でゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
者花のゝゝゝゝゝゝゝ



はんのゆくうぐりあそこう二三人よすこもとうせうこ女でと
みくうえつしまつはけうこのこれはうしたとこうて
菊のこうとうこうこうこひあつしまつるこあくよあくめてこ
門のあくこはこ弁の君乃こはうりよこのこうつまく
と云ありあまつ人の移んこうう射ようひうまつ此
ここくあくこあうこ夕雲かはあくこれくこたこまつ
はうくこうこはこのつこあうりまつうこはこうこ門めてかて
あうこと御文はこうこまつうまつうり 夕雲

つまかこうこのつひまはのはのこあつこのこと
かこうりこそこはまこうこはこうこうこうこうこうこん

宿乃うくう紫　源氏九十

やうひかはいたあ乃はこ日あくこ門のあくこうこ者の
あくらくこはくはこはまこてまつ夕雲はこはあくこれつこうつ
よこたこまつうこひせくこまくこうつまりあまつ人門の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]